

多世代がともに住み集う快適なまち

広報 長浜まちなか

令和6年(2024年) 8月1日発行

長浜まちなか地域づくり連合会発行

〒526-0037

長浜市高田町12-34

長浜まちづくりセンター(さざなみタウン)内



今年の「長浜まちなかフェスタ」は、10月27日(日)開催

今年、長浜まちなかフェスタは10年目、長浜まちづくりセンターが「さざなみタウン」に移転して5年目の節目を迎えます。また、地域づくり計画「まちの姿：多世代がともに住み集う快適なまち」の5年目、最終年度となる年でもあります。

そんな中で迎える今年のフェスタ、6月14日(金)19時からの長浜まちなかフェスタ実行委員会でテーマが決定しました。

2024テーマ：つなげよう この笑顔 次の5年 10年に！



☆☆☆10周年 2024長浜まちなかフェスタ☆☆☆

プログラムは、10月1日配布のパンフをご覧ください。今後、イベントへの出演、サポート役、ボランティアなどフェスタに種々参加いただける機会を提案して参ります。暑い日が続きますが、お呼びかけの際には温かくお応えいただけると幸いです。

学べて、楽しく、美味しい、お得なフェスタ、去年は約5,000人ご来場と盛況で、年一度、住民の皆さまが共に親睦を深める絶好の機会になります。

一方で、5年前策定の地域づくり計画の中には、歩みが遅い課題も多く、これからの5年、10年を考える機会にフェスタがなればと思います。地域のために共に取り組むことで、新たに見えてくるものがきっとあるのでは。

☆☆☆さざなみタウン開館5周年記念事業☆☆☆

令和元年12月1日開館のさざなみタウン、5周年を記念し、入居する長浜まちづくりセンター、ながはま市民協働センター、長浜図書館、長浜市社会福祉協議会など関係機関・団体と利用者等によるマンスリーイベントを12月1日から開催。詳しくは、さざなみタウンのホームページ等でご案内します。

📖 ちょっと注目 📖

旧公民館が、まちづくりセンターとなり、さざなみタウンに移転して早や5年、市から地域づくり協議会への委託が基本も、複合施設であるさざなみタウンは市直営。

これまで、組織の壁もありましたが、センター所長のご指導の下、地連との連携もスムーズに。当地連の4部会にセンター職員が配置されるようになりました。

長浜まちなか手帖4号「継ぐ」発行

長浜のまちなかにあるお宝をみんなで探し、掘り出し、光をあてる取り組みを4年あまり続け、「水」「石」「木」と1年ごとにテーマを決めて手帖を発行してきました。

今回は「継ぐ」。人に焦点を当てました。長浜のまちなかで、ものを作ったり売ったりという生業を継いだ若手後継者を紹介します。

ご希望の方は当連合会事務局にお越しください。無料でお渡しします。



多くのナカマが集い、協力し合う米川まつりと

滋賀県立大学、長浜バイオ大学、虎姫高等学校、まちなかの機関・団体・事業所など、多くのナカマが、



●米川まつり 子どもも大人も楽しめます！米川を歩いて水環境の改善に！

○米川チャレンジプロジェクト 参加無料（一部有料）

- ① 米川を歩こう！ 米川を歩いて、ドリンクチケットとエコアクションポイントをもらおう！
- ② 曳山博物館で遊ぼう！ 紙芝居（米かしばあさんなど）や館内で曳山クイズや缶バッジづくりに挑戦！
- ③ サイエンスカフェ 長浜バイオ大学若手研究者らの指導で、スライムづくりや米川の生き物調査、顕微鏡下で微生物の観察体験
- ④ 雨庭ワークショップ 雨庭は、米川の救世主？雨庭のしくみを体験してみよう！
- ⑤ めだかすくい ポイをうまく使ってメダカすくいを極め、お家でも健康的に飼育！（300円／回）
- ⑥ ちゃれたこ 子どもたちのたこ焼き屋台へのチャレンジ（有料）
- ⑦ 米川喫茶店 川の上でゆったりドリンクタイム♪虎姫高校生による川と森の体験もできるよ！（有料）
- ⑧ かき氷屋さん かき氷をたべてクールダウン（有料）

◇協力団体 ①ティーエムエルデ株式会社 ②曳山博物館・長浜図書館 ③未来生物学研究所（長浜バイオ大学）④滋賀県立大学瀧研究室
株式会社成建 ⑤近江淡水生物研究所 ⑥株式会社crevus design ⑦長浜まちづくり株式会社・虎姫高等学校新聞部

●これからの米川・かわまちづくり

1 ナカマを増やし、“キセキ”の米川でかわまちづくり！！

最近では、米川や周辺の景観などの良さを見直し、保全・活用を進める動きが出ています。当地連も、治水対策とともに、5年前から、多くのナカマと米川の可能性を共有し、そこに、まちなか特有の魅力（町衆、歴史文化）を掛け合わせ、地域の誇りづくり顔づくり、水辺空間を活かした地域活性化に取り組んでいます。

- | | |
|--------------------|---------------|
| ①米川への関心を高めよう | ②米川を美しく、再生しよう |
| ③米川の生き物や水環境をもっと知ろう | ④米川で遊ぼう |
| ⑤地域内外の新しいナカマと楽しもう | の5つが基本方針です。 |



2 治水対策が重要。遊水地整備などの対策へと。一方、雨庭の提案も！

米川は、たびたび氾濫し、多くの住家が浸水したことも。こうした状況の中、地元が一丸となって、毎年、県と市へ米川の治水対策を強く要望。米川への簡易止水パネルの設置から堆積土砂のしゅんせつ、さらに、流量を減らす対策として、溢水を一時的に貯留する遊水地の整備へと進んでいます。

一方で、多発する豪雨などによる都市型洪水が問題視されるなか、その減災対策として、自治体でも取り組まれるなど注目されている雨庭構想が提案されています。



（京都市情報館ホームページから）

これからの米川・かわまちづくり！！

米川のこれからの知恵を絞り、チャレンジ。米川まつりを契機に、新たな米川・かわまちづくりの展開へ



とき **8月4日(日) 午後1～4時(雨天中止)** ところ **曳山博物館自由広場周辺(米川も)**

○ 米川チャレンジ遊び

滋賀県立大学の学生が企画し、運営する川遊びゲーム。まちなかの小学生に募集済です。

①湧水で藍染めを体験しよう！ ②米川ボートレースにチャレンジ！ ③知識と技のヨーヨー釣り！

【約束ごと】

- ◆ 熱中症など暑さ対策は十分に。気分がすぐれない場合は、早めにスタッフに。
- ◆ 川に入るときは、ライフジャケットの着用、水に濡れても大丈夫な服装、脱げない運動靴（サンダルやクロックスはアウト）が必須アイテム。低学年（1～3年生）の方は、保護者の方も一緒に。
- ◆ 会場付近には、駐車場はありません。自転車は、近くの金屋公園の指定場所に。
- ◆ まつりでの事故等については、加入する保険の範囲内とし、事故等への責任を負いかねます。参加者・保護者自身の責任の下、安全に心がけてください。
- ◆ 会場内には飲料物の販売はありません。水筒やタオルも忘れないように。
- ◆ 雨天時は中止となります。当地連ホームページ等でお知らせします。

3 米川に、ビワマスが再来??



「ここでの、わしは子どもの時、窓からビワマスをつかんだんや」「川が汚れるのは家が汚れるようなもんなんや」というのが、米川の清掃活動のリーダーとして活躍されてきた片野喜代士さん（故人）の言葉です。（「生活環境主義でいこう！ 岩波ジュニア新書」から）

最近では、アユをはじめ、コイやフナが琵琶湖から遡上するのが見られます。卵を産みにきてくれているんでしょうね。片野さんの時代の川に戻れませんが、何か工夫をすれば、ビワマスをいっぱい見ることができるかもしれません。そのためには、米川のことをもっと知る必要がありますね。

4 子どものプレイパークをつくらう！！



米川の流水には湧水が。水質調査では、米川は十分にキレイとの報告。

それならばと、まずは、あちこちで集めたペットボトルで、10隻の川床（ペットボトル製いかだ）を製作。曳山博物館広場から、4隻が就航。子どもたちは、大人に見守られるなか、危なげに川床に立ったり、川に落ちこちたり、ずぶぬれになったり。しかし、大人も子どもも、みんな笑顔いっぱい。米川は、子どものプレイパークになりつつあります。

5 バープ工を体験しよう！



米川フォーラムで、専門家から、鮎の産卵場、ホタルの繁殖場だけでなく、治水対策としても機能を発揮する「バープ工」という仕掛けの提案。早速、ナカマを募って、どんどん橋付近で、試験的に実施。流速が増して土砂が洗い流される一方で、水が滞留する場所ができるなど、その効果が期待できるものでした。

しかし、河川管理上、長い期間の設置が難しいことから、これからも知恵を絞り、創意工夫を凝らして、安全なチャレンジへと！

☆☆☆ 自治会が連携して取り組む事業への助成について ☆☆☆

自治会同士の協働の仕組みづくりを応援するため、2自治会以上が一緒になって、新たに取り組む事業に対しこれまで以上に拡充して助成します。連合区や地区内活動団体への助成もありますのでお問い合わせください。

【問合せ先】 地連事務局 TEL 64-2753 Mail ntd.rengoukai@gmail.com

避難所設営体験学習会 今年は11月4日

まちなか連合自治会の統合を機に、毎年秋に79自治会による避難所設営体験学習会を開き、今年で3回目。

日時 11月4日(月・祝) 9時から午前中

会場 長浜小学校体育館

対象 自治会の方ならどなたでも

女性の参加を期待

協力団体 長浜市、長浜市社会福祉協議会、湖北地域消防本部、長浜市消防団第一分団、長浜小学校ほか
学習内容 仮設トイレの設営、車椅子避難、担架避難
応急手当、起震車地震体験など



花いっぱい運動 5年目を迎えました。

5月18日、長浜駅前の陸橋花壇に、今年度1回目の花苗の植付を多数の皆様に参加いただき実施することができました。参加いただいた皆様ありがとうございました。

コロナ禍を機に、えきまち長浜(株)様との参画事業「花いっぱい運動」として、多くの皆さまに携わっていただき、春と秋に植栽しています。

長浜の玄関を花で飾り、見て楽しみ、心を和やかにしていただきたいのがみんなの願い。

また、独自に大通寺周辺に配置のプランターに花苗を植え、観光の方や地元の皆さまにも楽しんでいただいています。

この秋にも、2回目の花苗の植付を11月23日(土・祝)に予定しています。多くの皆さまに参加いただき、楽しく汗を流したいと思います。

先立つての事前説明会(自治会長対象) 今年は9月29日

日時 9月29日(日)

13時30分～15時30分

会場 さざなみタウン2階多目的ホール

内容 避難所設営体験学習会の概要説明
HUG研修(避難所の運営を机上で疑似的に体験)
能登半島地震支援活動報告など



☆☆☆ こどもDoまんなかひろばにご協力ください ☆☆☆

たくさんの子どもたちが、さざなみタウンで5月から開催しているひろばに集まっています。

このひろばは、毎月・第2土曜日に、こどもたちが、自分ですることを決めて、自分の時間を過ごし、それぞれの持ち味を発揮できる場づくりをめざしているものです。こどもたちの“育ち”を応援しています。

○協力員の募集 子ども食堂の食事作りや、ひろばの運営などにご協力いただける方を募集しています。

○食材の募集 子ども食堂では、こどもたちにカレーライスなどを無料で提供、「じゃがいも」「にんじん」「お肉」「米」などのご提供を呼びかけています。



【連絡先】 TEL64-2753 (長浜まちなか地域づくり連合会)
ご協力・ご提供いただける方は、ご連絡をお願いします。

